

令和 4 年度仙台市食品衛生監視指導計画 実施状況(中間報告)

令和 4 年 9 月末現在

1 重点事業

(1) 【HACCP（ハサップ）に沿った衛生管理の実施状況の確認及び指導】

○監視指導

監視指導施設数 延べ 1,884 件 (前年度同期 1,874 件)

○講習会等

・開催回数：34 回 受講者数：969 名 (前年度同期 開催 32 回 受講者 1,144 名)

※ 2 (1) 営業者対象講習会の再掲

・パンフレット配布：1,958 部 (前年度同期 2,026 部)

○食品等事業者への HACCP 普及推進活動

10 月から実施予定 (前年度末件数 776 件)

(2) 【食肉及び内臓の生食や加熱不足による食中毒防止対策の強化】

○監視状況

生食用牛肉取扱い施設（規格対象）（牛たたき、牛刺し等）	1 件
上記以外の生食又は加熱が十分でない食肉提供施設（鶏刺し、牛タン刺し等）	63 件
その他	609 件
計	673 件

(前年度同期 869 件)

○啓発文書等

郵送による発送	4 回	192 件
ファクシミリによる発信	0 回	0 件
パンフレット配布	2,497 部	

(前年度同期 郵送による発送 5 回 720 件
ファクシミリによる発信 1 回 178 件
パンフレット配布 809 部)

○講習会(市民も含む)

・開催回数：14 回 受講者数：225 名

(前年度同期 開催回数：13 回 受講者数：290 名)

(3) 【リスクコミュニケーションの推進】

○食品安全対策協議会

・学識経験者、食品等事業者、消費者の委員 14 名に委嘱、食品の安全性確保に関する施策等について意見交換を実施（年 2 回開催）
(令和 4 年 11 月 28 日および令和 5 年 2 月開催予定)

○せんだい食の安全サポーター

せんだい食の安全サポーターを市民 31 名に委嘱し、書面研修による情報提供や意見交換を実施（令和 4 年 6 月および 9 月に実施）

○せんだい食の安全情報アドバイザー

せんだい食の安全情報アドバイザーを市民 12 名に委嘱し、書面による意見交換を実施（令和 4 年 6 月）

○せんだい食の安全情報コミュニケーター（食の安全情報推進隊）

せんだい食の安全情報アドバイザー経験者 8 名が食中毒予防啓発資料配布活動を実施（令和 4 年 4 月、7 月、9 月）

2 具体的取組み

(1) HACCP に沿った衛生管理の実施状況の確認及び指導

【計画】

食品等事業者が食品衛生法に基づいた衛生管理を確実に実施し、さらに衛生管理の向上に向けた自主的な取組みを進めることができるように、計画的な監視指導を行います。

【実施状況】

食品等事業者の責務の周知や、食品等事業者による自主衛生管理の推進のため、講習会や衛生指導を実施。

○衛生講習会（回数／人数）

食品衛生責任者講習会	14 回／1,306 名	(前年度同期 11 回／764 名)
営業者対象講習会 (HACCP に関する内容を 含まない講習会を含む)	39 回／1,107 名	(前年度同期 32 回／1,144 名)
市民対象	9 回／95 名	(前年度同期 9 回／77 名)
市政出前講座	0 回／0 名	(前年度同期 1 回／9 名)

(2) 製造・加工から消費までの各段階における食品の安全性確保対策の充実

【計画】

本市における食品等の生産・製造・流通状況や食品関係施設の実態、食中毒をはじめとした食品衛生上の危害発生状況等を考慮し、計画的かつ効果的な監視指導に取り組みます。

【実施状況】

食品等の衛生的取扱い管理や、施設の衛生状況等の監視指導及び食中毒予防の観点から食品群別の重点的な監視指導を実施。

○監視状況

施設分類	立入回数	対象施設数	延べ監視回数
違反・不良食品、食中毒発生施設	年 3 回	3 施設	7 件
広域流通・大量調理施設等	年 2 回	119 施設	246 件
給食施設等	年 1 回	490 施設	66 件
上記以外の施設	随時	18,718 施設	15,047 件
計		19,330 施設	15,366 件

※HACCP に沿った衛生管理の実施状況を踏まえて必要に応じて監視回数を調整する。

○ノロウイルスによる食中毒防止対策の強化

- ・講習会(市民も含む)

開催回数：19 回 受講者数：477 名（前年度同期 開催 12 回 受講者 473 名）

- ・監視状況

生かき取扱い施設(飲食店、魚介類販売業等)	4,349 件
集団給食施設	65 件
上記以外の施設	337 件
計	4,751 件

(前年度同期 5,177 件)

- ・収去検査等（年間計画 91 検体予定）

品目	検体数	ノロウイルス検出状況
生かき	1	0
その他	0	0

○食品中の放射性物質、残留農薬及び動物用医薬品への対応
収去検査等

	実施状況	今年度計画	違反数
放射性物質 (市場流通品)	26 検体	118 検体	0
放射性物質 (市場外流通品)	16 検体	25 検体	0
残留農薬	30 検体 (6 検体)	137 検体 (41 検体)	1
動物用医薬品	54 検体 (4 検体)	88 検体 (11 検体)	0
計	126 検体 (10 検体)	368 検体 (52 検体)	1

() 内は輸入食品の検体数 (再掲)

○一斉監視 (食中毒の多発する夏期及び食品の流通量が増加する年末年始に実施)

主要事業	内容
夏期一斉監視 7月	施設基準、食品の管理、取扱いに関する監視 食品の表示に係る監視 ※重複施設あり 食品検査
年末一斉監視 12月	

○と畜検査

食肉市場において、と畜した牛・豚等について、と畜検査員による検査を行っています。
特に、牛については、検査対象牛※の BSE 検査を行っています。

①と畜検査頭数 (牛)	9,213 頭
BSE 検査頭数 (陽性数)	0 (0) 頭
②検査頭数 (豚)	55,769 頭
③検査頭数 (馬)	0 頭
④検査頭数 (山羊)	0 頭

※検査対象牛；生体検査で神経症状等を示す 24 ヶ月齢以上

○食品検査

食品等の種類	主な項目	検体数 (件)	違反数 (件)	違反内容
魚介類	細菌、ウイルス、貝毒、放射性物質	70	1	殻付天然岩かき (規格違反)
弁当・そうざいなど	細菌、食品添加物	109	0	
野菜・果物とその加工品	残留農薬、食品添加物、放射性物質	51	1	梅 (規格違反)
肉・卵とその加工品	細菌、食品添加物、放射性物質	62	0	
菓子類	細菌、食品添加物	45	0	
魚介類加工品	細菌、食品添加物	34	0	
冷凍食品	細菌、残留農薬	12	0	
乳・乳製品、乳類加工品	細菌、食品添加物、放射性物質	9	0	
穀類とその加工品	細菌、食品添加物	10	0	
アイスクリーム、氷菓	細菌	0	0	
清涼飲料水、酒精飲料	細菌、食品添加物	5	0	
その他	細菌、食品添加物	2	0	
合 計		409	2	

(前年度同期 合計 552 件 違反 2 件)

○食品を取り扱う作業場等の検査

検査の種類	主な項目	検体数（件）
ふきとり検査等	細菌、ウイルス	424
微生物現場簡易検査	細菌	177
ATP 検査	製造工程、調理場内の清浄度等	140
合 計		741

（前年度同期 合計 669 件）

(3) 食中毒等の緊急事態発生時の対応

【計画】

食中毒等、食品が関係する健康被害の情報を察知した場合には、関係機関と連携しながら、原因を究明するとともに被害拡大防止対策を講じます。また、緊急事態が発生した場合には、国及び他自治体からも情報収集し、情報の集約・一元化を行い、庁内関係各課と情報や対応方針の共有化を図りながら対応します。

【実施状況】

食中毒の発生時の原因究明、拡大防止を実施。

発生件数 5 件 （令和 4 年 10 月現在）

	発生年月日	病因物質	原因施設
1	令和 4 年 4 月 3 日	植物性自然毒（バイケイソウ）	事業場
2	令和 4 年 6 月 4 日	アニサキス	飲食店
3	令和 4 年 6 月 23 日	アニサキス	スーパー
4	令和 4 年 6 月 30 日	カンピロバクター	飲食店
5	令和 4 年 10 月 7 日	サルモネラ	飲食店

(4)相互理解のためのリスクコミュニケーションの推進

〔計画〕

食品の安全性確保に関する情報を消費者及び食品等事業者に向けて様々な媒体を利用し提供していきます。また、消費者、生産者、食品等事業者及び行政の相互理解を深めるため意見交換会を開催するとともに、様々な立場の意見を正しく理解し、リスクコミュニケーションの支援、仲介のできる人材の育成を図ります。

【実施状況】

○意見交換会・講演会等の実施

実施内容	実施回数など
食品安全対策協議会	14名の委員・2回開催予定 アクションプラン・食品衛生監視指導計画について協議
せんだい食の安全サポーター	実施回数：2回（令和4年6月、9月書面により実施）
せんだい食の安全情報アドバイザー	実施回数：1回（令和4年6月書面により実施）
せんだい食の安全情報コミュニケーター	実施回数：3回（令和4年4月、7月、9月実施）
食品の信頼性確保 トップセミナー	実施回数：1回（令和4年10月オンライン及び動画配信により実施）
食品の安全に関する講演会	令和5年2月実施予定
市民向け講習会	実施回数：9回 参加人数：95人
食品衛生出前講座	実施回数：0回 参加人数：0人
施設見学の受け入れ	衛生研究所 0回 参加人数：0名 食品監視センター 0回 参加人数：0名 食肉衛生検査所 3回 参加人数：10名
啓発資料の作成配布 ポスター、パンフレット等	・食の情報館 4,000部 ・ノロウイルスって知ってる？ 4,000部 ・カンピロバクター食中毒が多発しています!! 2,000部 ・生肉には食中毒の危険が!! 3,000部 ・毒きのこによる食中毒を防ぎましょう 1,000部
FAX情報	延べ 66回 送信数 3,624件 （腸炎ビブリオ食中毒注意報・アニサキスによる食中毒注意喚起・有毒植物等自然毒について・未処理ぶぐの販売について・貝毒情報など）

○食品衛生法違反の公表

仙台市のホームページ上で以下の情報について公表

食品衛生法第69条に基づく違反者の公表： 5件（令和4年10月現在）

公表年月日	違反条項	内容
令和4年6月4日	食品衛生法第6条第3号違反 食品衛生法第50条の2第2項違反	食中毒の発生 管理運営基準違反
令和4年6月24日	食品衛生法第6条第3号違反 食品衛生法第50条の2第2項違反	食中毒の発生 管理運営基準違反
令和4年7月7日	食品衛生法第13条第2項違反 食品衛生法第51条違反	規格基準違反 施設基準違反
令和4年7月12日	食品衛生法第6条第3号違反 食品衛生法第50条の2第2項違反	食中毒の発生 管理運営基準違反
令和4年10月24日	食品衛生法第6条第3号違反 食品衛生法第50条の2第2項違反	食中毒の発生 管理運営基準違反

(5) 関係機関との連携及び実施体制

〔計画〕

食品衛生に関する監視指導が迅速に実施されるよう庁内関係各課や国、他自治体等と連携を図ります。

【実施状況】

○食品安全対策推進会議の開催

- ・ 庁内関係各課で構成（構成員 21 名）、1 回開催（11 月）
（第2回 令和5年1月開催予定）

○食品衛生担当課長会議及び担当係長会議

- ・ 食品衛生担当課長会議
- ・ 食品衛生担当係長会議

○国, 他自治体との連携

- ・ 東北広域連携協議会（6 月 オンライン会議）
- ・ 宮城県食品表示監視協議会（9 月、2 月（予定））
- ・ 全国食品衛生主管課長連絡協議会（6 月 書面会議）
- ・ みやぎ食の安全安心推進会議（宮城県主催）（6 月、8 月、2 月（予定））
- ・ 二十一大都市食品衛生主管課長会議（8 月 書面会議）
- ・ 北海道・東北ブロック食品衛生主管課長連絡協議会（8 月 書面会議）
- ・ 北海道・東北ブロック食品衛生関係担当者会議（7 月 資料配布及びオンライン協議）